

表-30 放流群別年別漁法別の再捕状況及び累積回収率

放流群	再捕年	再捕数	漁法別再捕数					累積回収率(%)
			刺網	延縄	突き	釣り	遊魚	
1991年度放流群	1991	0						0.00
	1992	5			2	1	2	0.30
	1993	0						0.30
1991年度1才魚放流群	1991	2	1				1	0.47
	1992	6		2	1		3	1.87
	1993	0						1.87
1992年度放流群	1992	0						0.00
	1993	0						0.00
1993年度放流群	1993	0						0.00

放流魚の再捕位置については図-46に示した。平成3年度1才魚放流群は再捕された8尾中5尾が放流した渡嘉敷島西海岸で再捕され3尾が東海岸で再捕された。当才魚放流群は再捕された2尾とも東海岸で再捕された。また、再捕報告はいずれも渡嘉敷島からで渡嘉敷島以外の慶良間諸島及び当海域を利用する他地区からの報告はなかった。また、放流群別の放流後の経過日数と再捕時の尾叉長の関係を図-47に示した。再捕魚の数が少ないため十分検討できないが、放流魚はおおむね生後満1年で180mm、2年で300mmに達したものと考えられた。これは沖縄県北部海域で得られている結果⁸⁾とほぼ同様であった。

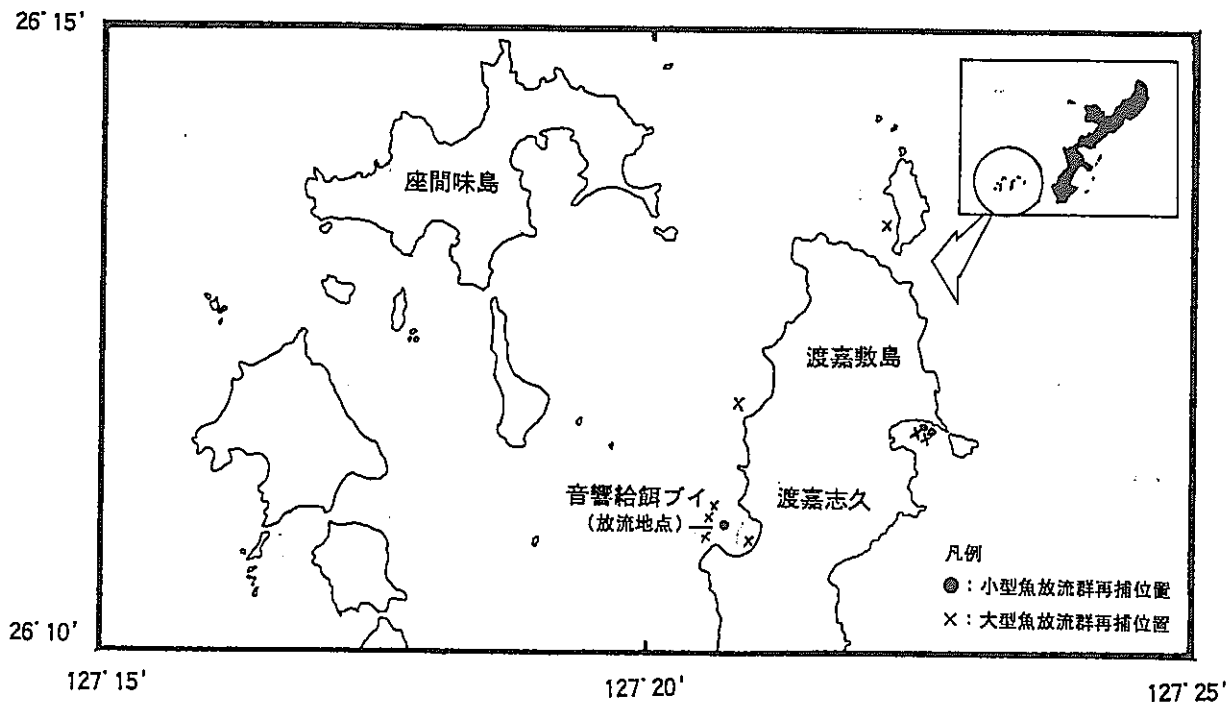


図-46 放流群再捕位置